

千葉大学医学部附属病院で大動脈弁狭窄症に対する 経カテーテル的大動脈弁置換術を施行された 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2026年6月11日

循環器内科

循環器内科では、「左室心筋仕事量による大動脈弁狭窄症の新しい治療介入指標の検討」を行っており、以下に示す方の診療情報等を、本文書の公開日以降に利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2017年1月1日～2026年3月31日の間に循環器内科または心臓血管外科で大動脈弁狭窄症と診断され、経カテーテル的大動脈弁置換術を受けた方

1. 研究課題名

「左室心筋仕事量を用いた左室駆出率の保たれた重症大動脈弁狭窄症の病態解析」

2. 研究期間

2026年承認日～2031年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

本研究は、従来の指標では手術すべきか判断が困難であった一部の大動脈弁狭窄症に対し、手術適応かどうかを判断する新たな指標を発見することを目的としています。

2017年1月1日から2026年3月31日の期間で、大動脈弁狭窄症に対する経カテーテル的大動脈弁置換術を受けられた方を対象とし、術前及び術後経胸壁心エコー検査データ、診療録に記載されている身長、体重、病歴、血液検査値やレントゲン等の各種検査所見や投薬等を含めた治療内容等を取得して解析し、手術適応かを判断する新たな指標を調べます。

4. 研究に用いる情報の種類

手術前及び手術後に施行した経胸壁心エコー検査データ
診療録に記載されている年齢、性別、身長、体重、病歴、採血やレントゲンなどの
各種検査データ、投薬を含めた治療内容等

5. 研究組織（情報を利用する者の範囲）

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院

研究責任者：循環器内科 診療准教授 高岡 浩之

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、千葉大学医学部附属病院循環器内科において厳重に管理します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

（URL：<http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>）

7. 研究に関する相談窓口について

研究に情報を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はありません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口

〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院（病院長：大鳥 精司）

循環器内科 診療准教授 高岡 浩之

043（222）7171 内線72103